

6. 資料

みんなのPan宣言

分科会Ⅲターム3において参加者のみなさんに書いていただいた行動目標、「Pan宣言」を集めました。2日間の取組みを振り返り、個人の行動目標に落とし込むことは、簡単な作業ではなかったと思いますが、参加者一人一人の決意が表れています。参加者が2日間でどんなことに気づき、何を目指していこうとしたか、参考に見てみてください。

No.	Pan宣言
1	大学の業務をあらゆる視点で見られるようになるために、様々な部署のメンバーを集め、情報交換を行う勉強会を企画します！
2	大学をさらに魅力的にするために、学び(自身の能力向上)、つながり(学内とのつながり)、広がり(学外へのひろがり)を大切にします！
3	出向の経験を大学に還元するために、①大学:現状・課題を把握し、②JSPS:日本の高等教育の仕組み・状況を理解し、③海外:良い面を吸収できるよう常にアンテナをはってお仕事します！
4	大学の国際性向上に資するために、学内の研修には可能である限り出席します！
5	①学生のために、笑顔で対応します！ ②業務改善のために、業務に必要な知識を勉強します！
6	高エネルギー加速器研究機構の活性化のために、KEK未来セミナーの開催につなげられるよう努力します！
7	業務効率化のために、非効率要因を洗い出し、ルーティーンを含めた前例の見直しをします！
8	仕事と私生活を充実させるために、専門知識・行動力を身につけ、業務の見直しをします！
9	学生が本当にやりたいことをしてもらうために、多様性を受け入れ、視野を拡大します！
10	大学の強み・特色を把握して、自身の業務の中から貢献できることを見つけるために、いろいろなもの(会議資料・web・広報誌・上司や同僚との会話etc.)から常に情報収集し、知識を蓄えます！
11	変化に対応できる柔軟な大学職員になるために、失敗を恐れず、向上心と興味・関心を持って仕事をします！
12	自然科学研究機構会計に関するスキルを向上させ、同僚に頼られる存在になります！
13	大学職員としても知識・能力の引き出しを増やすために、 ・大学で起きていることを知る(HPやニュース、学内の他の職員から) ・大学職員として必要な知識の勉強 ・多くの人とかかわる(積極的にコミュニケーション)
14	自分の業務・行動が周り、大学、社会へ波及するために、目・鼻・耳・口・心をバランスよくレベルUPします！
15	大学が将来果たすべき様々な課題に取り組むために、情報収集や分析、業務の見直しを行い、大きくは大学改革を目指します！
16	今の業務内容にとらわれすぎないようにもっと発想力・想像力を高めていくために、大学内外いろいろな人と話し、話を引き出せるように努力します！
17	大学職員の可能性を感じる、もっと面白いと思うために、自分の大学のことを知り、人に説明できるように(大学のHPを毎日見る、広報誌を読むetc.)なります！事務だけではなく、他の仕事もできるようにします！
18	古い慣習にとらわれて若手職員がモチベーションを失うことなく業務に取り組める環境をつくるために、「言うべきことは言う」、「悪い空気は読まない」方針で業務に取り組みます！

No.	Pan宣言
19	大学の国際化(留学生の受入、送出、外国人研究者の受入等)に対応していくために、語学力を含めて国際性・多様性を身に付けます！
20	職員・教員・学生の橋渡し役となるために、図書館アルバイトの学生と飲み会を開催します！
21	業務量が増加し、業務が複雑化されていくなか、その業務を次々と処理していくために、大学のことを幅広く知り、愛校心を持ったプロ職員を目指します！
22	いつでも大学が笑顔でいられるように、成長し続けます！
23	業務の質を高めたり、新たなプラスの仕事を考えていく時間を作るために、ルーチン業務をより効率化できるような業務手順を見直します！
24	機構の発展に資するために、職員・教員とのコミュニケーションを軸に、課題把握及び解決に尽力を尽くします！
25	転職のために、資格取得の勉強をします！(とりあえずは英語から)
26	学生たちの楽しい学生生活のために、学生が頼れる職員(〇〇課の〇〇さん)になれるよう、得意分野(コミュニケーション・語学)のスキルアップします！
27	学生を知るために、学生をまきこみ、学生主導で、俗人化されないイベントの開催を目指します！
28	職場に存在するムダを省き、スマートな環境を構築していくために、まずは職場にいる志の高い人、高いスキルを持った若手を巻きこみ、身のまわりの業務を効率化し、そのデータをチクセキしてマニュアル化します！
29	下の世代が行動できる環境を整えるために、メーリングリストや掲示板などの情報発信できる場を作ります！
30	いい意味で図太くなるために、来た仕事は始めに5分見てちょっとだけでも手をつけ、ToDoリストノートに記録し忘れないようにするとともに、必要な仕事が終わったら迷わず帰宅します！
31	大学の強みを理解するために、教員や学生の立場に立って思考します！
32	親しみやすい職員になるために、常に余裕を持って優雅に仕事します！
33	毎日わくわく仕事に行くために、今置かれている状況(大学・地域・人)を知り、活用し、できることから始めます！
34	①業務の複雑化、負担増加に対応していくために、業務の仕方、効率を意識し仕事の処理能力を向上させます！ ②大学の課題や大学職員の在り方について今後も勉強していくために、学内で勉強会を開きます！
35	後悔しないために、やったほうが良いと思うことはやるようにします！
36	①自分の気づきを他人へ発信するために、ちょっと口をはさむ人になります！ ②他大学・他業種の人とのコミュニケーションをつなぐために、自分から連絡を取ってみます！
37	みんなが楽しく働けるような環境をつくるために、相手を理解し、話すことを理解し、うけとめきってから、一緒に考えることをします！
38	他人へのはたらきかけが出来る人になるために、行動力を身につける！(自分発信) 人脈を広げます！
39	①コクダイパン会議で得た、知識や仕事術、モチベーション向上の手段を活用するために、自大学へ持ち帰り同期や若手層と情報共有します！ ②コクダイパン会議でできたつながりを維持するために、名刺交換した方へ連絡をとります！(Facebookも)

No.	Pan宣言
40	自分の大学を好きになるために、ホームページを毎日チェックします！
41	組織に対する影響力を高めるために、業務及び他職員への理解を深め、また、自ら止めることなく成長します！
42	組織を運営する人の視点や事務職員への要求を学ぶために、半年に一回をメドに、経営トップと懇談する機会を確保することに向けて行動します！
43	将来の自分と学生と大学のために、学びつづける職員になります(英語・アクセス・他部署のこと)！
44	大学の空気を変えていく職員となるために、 ・コスト意識を持つ ・多様な経験をする ・学ぶことをやめない 以上の3つを実行していきます！
45	複雑化する大学業務に対応できる大学職員のプロフェッショナルになるために、教育機関で働いている自覚を持って働きます！
46	向上心をもって業務を遂行し、組織の発展や社会貢献(大学の特徴)に資するために、他大学との情報共有を図り様々な視点から課題解決に取り組みます！
47	国立大学のグローバル化のために、ハラルフード、国際学生寮、デュアルディグリー・ジョイントディグリー、渡日前入試等の進め方を検討している事項について、 ①学内での国際関連部署との勉強会 ②他大学の皆さんとの情報共有 を行い、具体化します！
48	所属機関が社会の要請に応え、必要とされる存在であり続けるために、機関に関係する人々(教員、職員、ユーザー等)の声に耳を傾け、とりまく環境を冷静に見つめ、改善すべきところは少しずつでも、アイデアを行動にします！
49	学内外とのつながりを作るために、勉強会の情報を集めます！
50	大学職員として成長し、可能性を広げていくために、仕事とも、大学に関わる人々とも楽しんでつながっていきます！
51	留学生が大学に親しみを持ってくれるため、更に自らの語学力UPのために、1日あたり10人の留学生に英語または中国語で会話をするように努力します！
52	自分の大学の発展に貢献できる職員となるために、もっと自分の大学について勉強します！
53	仕事で遊び心を持つために、ワクワクしに出かけます！ ex.アウトドア、行ったことがないところに行く etc..
54	自分自身のキャリアUPのために、語学、その他業務につながる事柄を勉強します！
55	大分大学を地域にねぎした大学とするために、大学のことを知り、一広報活動員として学外に向けて大学の宣伝をします！
56	後任育成のために、一緒にひとつひとつの仕事が何のためにやるものなのかを確認し、その過程で生じる課題について解決方法を考えることを習慣化します！
57	大学職員という仕事と大学への愛をもっと深めるために、柔軟な気持ちでたくさん学び、「知識」と「つながり」を拡大します！
58	全国の大学に関わる人達のために、自分の大切な人と同じように接します！

No.	Pan宣言
59	窓口にくる学生のために、笑顔で仕事します！
60	大学で「研究していること」を知らしめるために、まずは「研究内容を知ること」からスタートします！
61	より幅広い学生支援のために・語学能力の強化→英会話研修、TOEIC受験(今年こそ!)・1日30分は学習時間を確保して、新カリキュラムなど大学の体制について自分でまとめ、勉強します！
62	自分の大学の人材育成のために若手職員という立場から、「職場を楽しく」します！
63	発想力を高めるために継続して勉強し、様々な業種の人と交流します！
64	①課や係を超えて課題を発見し解決する「文化」を大学に根付かせるために、課題解決型プロジェクトのパッケージ化をします！ ②研修(キャリアカウンセリング・留学カウンセリング)で得た知識・資格を活かせるようにするために、週1回平日午後留学カウンセリング(オフィスアワー的な)をやれないか関係者と交渉します！ ③若手大学職員や学生(採用希望者)に大学職員の魅力を感じてもらうために、大学職員による大学職員のためのフリーペーパー「PU」の発行を継続します！
65	グローバル化の流れに対応できる職員になるために言語能力の向上はもちろんのこと、異文化など多様な価値観を理解できるようにコミュニケーションスキルを向上します！
66	会計のスペシャリストになるために会計以外も含めて勉強しつづけます！
67	大学のグローバル化に向けた教職員の英語能力向上のために人材(留学生・教職員等)を活用します！
68	問題点を共有し、もう一度自分の大学の良さを見出すために過去に自然消滅した勉強会のメンバーと勉強会を再開し、新規メンバーを開拓する他、何か報告できるような事案に挑戦します！
69	大学が抱える諸問題の解決策を提案するために(そのための第一歩として)本部会議資料を全て何の資料か他人(新入職員)に説明出来る位に理解します！
70	時間に余裕をつくり、ラクをするために1年目で分かっていない業務のマニュアル化・効率化をします(ゆくゆくは…労働法改正に伴うマニュアルを事務学部向けに配布!!)
71	人と人を結び、自分が楽しみ、周囲を楽しませる存在である学内アイドルになるために周囲に色んなものを提供し、与えます!(知識・経験・笑顔・安心感・人手・人脈・アイデア)
72	もやもやした人、心が少し疲れている人、グレーゾーンにふみ出せない人がちょっと楽しくなるように互いに共通して受け入れられる遊びの要素を見つけ、ホスピタリティの精神で互いの満足につながる、気づきのきっかけづくり“話しかけ”をこれまでよりさらに広報から離れても続けていきます！
73	柔軟な対応をするために色んな人と顔を合わせて会話をし、心を通わせることができるように意識します！
74	「ただの事務屋」にならないために仕事に対して「遊び心」や「ホスピタリティ」をもってその仕事について自分の頭で考え、取り組み続けます！
75	大学をより楽しい場に変え、構成員がイキイキ働けるようになるために大学の知を活用し、「楽しい」と「成長」が融和した学びの場を提供し続けます！
76	The事務職員ではなく、遊び心を持ち、経営者としての視点を持ったnewタイプの事務職員となるために学生・教職員・職場の違いなど関係なく、相互が気持ちいい仕事を行い、楽しんで仕事をします！
77	ただの事務屋にならないために係・部局にとらわれず、業務に疑問を持つと共にホスピタリティを意識し行動します！
78	遊び心を持って楽しく仕事をするためにメールの署名欄で遊んだり、若手の勉強会を企画して、他部署等の知識を深め、コミュニケーションを増やします！

No.	Pan宣言
79	教員と事務職員とつなげる仲人になるために事務手続きを「見える化」(規程→マニュアル、フロー)します！
80	①グローバル化に対応するために、外国企業と契約したり、外国の教員や学生向けの英語資料を作る程度の英語力を取得 ②財源を確保するために契約内容の見直しを行い、経費削減をします！
81	①教員、学生の求めるサービスを把握するために、相手の名前を覚える。そして口に出します！ ②大学クリエイターとしてSD企画や参加、業務改善(デザインコーディネート)するために、まずは“ちょっと”やってみ(日頃から動き続ける)ます！
82	ロールモデルになるために学内外に自分の取組を発信すると共に突破力をつけます！
83	さらなるスキルアップ、見聞拡大のために他(SPOD、あさがおメーリングリスト)の研修会にも積極的に参加します！
84	パンのためにPush and notice します！
85	大学業務の高度化、業務量の増加に対応するためにさらなるスキルアップと、他の教職員との協同協調をします！
86	良い意味で名前を覚えられる職員になるためにいつでも相手の目線に立って考えることを心がけます！
87	自分と人とが成長できる職員になるために自分の考えや思い、知識を外化し、業務に関する文書作成や経験を伝達させる場をつくりだします！
88	「大学職員」のおもしろさを友達に語れるようになるために、今つまらないと思っている業務をおもしろくする工夫をします！
89	後輩の育成、働きやすい職場環境を作るために自分自身がロールモデルとなれるよう成長し、変化します！
90	余裕を持ち、働くためにやる気を出し、準備します！
91	学生から“ありがとう”と言われるために学生カルテをアップデートし、アドバイス・サポートします！
92	モチベーションを保つ／人材育成のために大学全体のことが分かる研修会を実施します！
93	課題を解決したり、その課題について学ぶ時間を作るために業務の効率化(ルーティンワークのマニュアル化、年間スケジュールの作成etc.)を推進します！
94	学び続けていくためにコクダイパンで学んだことをレポートに書き起こします！
95	学内のことをもっと知り、企画・立案できるようになるために学生・教員と関わる機会を増やし、自分が必要とする知識について学んでいきます！
96	学生や教員によりよい環境を提供するために業務改善します！
97	快適な大学環境のために恐れず自分のできることを突破します！
98	部下に頼られる上司をめざすために積極的に学び、知識を吸収します！
99	自分の携わっている業務の課題を発見し、それを解決するために同じ業務をしている人たちの学内ネットワークをつくり、課題を共有します！

No.	Pan宣言
100	どんどん情報発信していくためにまずは課内勉強会で外部研修の還元(発表・報告)をします！
101	自分の目の前の業務をこなすだけでなく、大学のため、学生のため、他の職員のためになるようなこともしていけるような職員になるために時間がない、時間がないと忙しいことを言いわけにせず他のことにもとりくめる時間を作りだします！
102	業務を円滑に進めるためにフットワークを軽くします！
103	拡大する産・官・学のニーズに幅広く対応するために日々の出来事の一つひとつを学びと捉え、自発的に取り組んでいく姿勢を大切に 現部署では…英語(留学生・協定校対応)、多文化共生(性・宗教・同性婚etc.) します！
104	業務内外で得た学びを活かすために課題発見の力を磨き、(小さくても)改善を積み重ねます！
105	①「大学で働くのって楽しい」と(同僚・上司に)思ってもらえるように楽しそうに仕事します！ ②「大学職員、やるじゃん」と(学生さん・先生方に)思ってもらえるように「こういうこと考えてます」と臆せずに話します！
106	組織のブラック体質改善のために組織に対する提案書を作成します！
107	窓口で学生と直接関わる、最前線に立つ者として、持ち込まれる課題の多様化に対応するために新たな課題を理解(学内外の研修へ積極的に参加)し、対策の企画・提案をします！
108	「楽しく・ゆるく・熱く」の職場づくりを目指すために、 ○学内で若手自主研修(学生との共同プロジェクト)を実施 ○学外とのネットワーク形成 に向けて活動します！
109	さまざまな変化に見合うために向上心とコミュカで一つ上のステップに行きたいと思います！
110	財務・経営に悩む大学のために自分が所属する研究科の教員にも問題解決への相談をし、一つでも多くの機関のお悩み解決の手伝いをします！
111	自分の名札(看板)をつくるために今まで以上に今の業務に精通する自助努力をします！
112	仕事に余裕を持って働いていくために朝の時間を使ってマニュアル化を進めていきます！
113	グローバル化に対応するために語学(英語)の学習と異文化理解のために外国に行きます！
114	学生・教職員のために研究活動の活性化につながる施設整備をします！
115	将来的に研究所の内外をつなぐ人材になれるようにするために、 ○内外で信頼感を獲得できる人材に成長 ○内部(研究内容の把握)への理解を深める取り組みを します！

第9回 国立大学一般職員会議

“Pan can do it !!～自分の仕事が未来を変える～”

実施要項

1. 目的・概要

法人化後の平成19年7月15日、国立大学の将来に危機感を抱いた全国の一般職員有志により、国立大学の将来像や国立大学が直面する課題を議論し、具体的方策を見出していく自発的な活動が行われました。これが現在まで続いている「国立大学一般職員会議」の基礎となっています。

国立大学一般職員会議では、将来の国立大学法人を担う私たち一般職員（係長級以上を除く職員）が、全国各地より自発的に集まり、現在直面している様々な課題や、これから求められる国立大学職員像などについて全国の仲間とともに考えていきます。

職歴や担当業務が異なる全国の一般職員との議論や交流を通じて、様々な視点から課題解決に向けたアプローチや具体的な解決方法等を模索することで、明日からの自分自身が大学職員として少しでも成長することができる“きっかけ”を得ることができればと思います。

本会議では、参加者一人ひとりが将来の国立大学のキーパーソンとなるべく、自分自身において必要な資質を考え、培い、行動していくための一助となるような自己研鑽の機会となること、また、参加者相互の協力や意見・情報交換のための人的ネットワークの構築・拡大を目的としています。

2. 主催

国立大学一般職員会議実行委員会（以下、実行委員会と称する）

〔実行委員：11名〕

岩村 徹（山梨大学）、江沢 美保（一橋大学）、尾城 友視（一橋大学）、金子 亜弥（東京工業大学）、小村 愛美（大阪大学）、高田 侑子（兵庫教育大学）、仲井 啓吾（長崎大学）、藤原 李奈（千葉大学）、望月 晃平（東北大学）、矢野 由佳（京都大学）、渡辺 愛（埼玉大学）

※ 実行委員会は、以上の国立大学法人一般職員有志による自発的な組織です。

3. 日時・会場

〔日時〕

1日目：平成27年10月10日（土） 13：50～18：50（予定）

2日目：平成27年10月11日（日） 08：50～14：30（予定）

※ 1日目の会議終了後に懇親会を行います。

※ 2日目の昼食は実行委員会で準備します。（パンと飲み物を予定しています。）

[会場]

国立大学法人 一橋大学

〒186-8601 東京都国立市中 2-1 (参照 URL : <http://www.hit-u.ac.jp/>)

※ 受付及び全体会会場 :

国立西キャンパス 如水会百周年記念 インテリジェントホール

○ 交通案内 : <http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/kunitachi.html>

○ 建物配置図 : <http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/>

(会場は 5 番「別館」内)

=宿泊施設の予約について=

開催期間中は、会場校近隣での大型イベント等はなく、交通の混雑等の恐れは少ないかと思いますが、一橋大学の最寄駅である国立駅周辺には宿泊施設がない為、JR 中央線沿線などを含め、お早めに予約をお願いします。

4. 参加対象者

国立大学法人に所属する一般職員

※ 本会議において、一般職員とは、係員・主任級の職員を意味し、係長級以上は除きます。

※ 文部科学省や日本学術振興会など、関係団体へ研修・出向中の方も含まれます。

5. 主な内容

現在、国立大学を取り巻く環境は日々変化しており、各大学においては自らの強み・特色を最大限に生かし、更なる発展の仕組みを構築するなど、持続的な競争力と高い付加価値を生み出すことが求められています。そのような状況下においては、我々国立大学職員も日々の業務を通じて、自ら積極的に大学の発展や社会貢献等に資することが必須であると考えます。

しかし、求める理想がある一方で、「日頃の業務に追われ、漫然とこなすばかりで、広い視野を持って前向きに取り組むことができているのではないかと自分自身への問題意識を持つことも一つの現状なのではないでしょうか。そのような状況に対し我々実行委員は、主体的に働くことによって「やりがいと誇り」を持つことで、現状を打破し、個々人が理想とする大学職員に少しでも近づけるのではないかと考えました。

そこで、第 9 回となる本会議では、『Pan can do it!!～自分の仕事が未来を変える～ (Pan=パンとは、「一般職員」の略称)』をテーマに、全国から集まった仲間とともに、国立大学の現状や課題についての議論を通じて客観的に大学職員が置かれている状況を捉え、他大学で主体的に活躍している一般職員の事例を学ぶことで、参加者それぞれが現状に抱えている課題解決へのヒントを得、また職員としての可能性を改めて認識したいと思います。そして、主体的に活動できる“きっかけ”として、明日からの自分の行動目標を考えます。

実行委員会では、参加者がこの会議後に個々人で定めた行動目標を実践することを通じて、自らの仕事に「やりがいと誇りを持った」大学職員すなわち、今後の国立大学を支えていくキーパ

ーソンとなり、自らの業務を通じて国立大学の未来をより良いものに変えていくことに期待したいと思います。

○1 日目

1. アイスブレイク

少人数グループに分かれ、事前に設定したテーマ（後日発表）について順番に発表し、共有します。その後、数名の方に参加者全員の前で発表していただきます。参加者による意見の多様性や所属機関の特色を知る機会になるとともに、2日間のプログラムの導入及び分科会での議論に向けた準備運動と位置づけています。

2. 分科会 I

テーマ別に分かれ少人数のグループディスカッションを行います。国立大学を取り巻く諸課題について、参加者自身が興味のある分野を端緒に、展望・課題など様々な視点から議論を行うことで、国立大学の現状を把握するとともに、国立大学職員として必要とされる能力・役割などを考える機会とします。

なお、テーマについては、後日参加申込者に対してお知らせし、複数のテーマの中から分科会 I で議論したいものを選んでいただきます。詳細につきましては、参加申込用紙にご記入頂いたメールアドレスに連絡するとともに、ホームページ等でお知らせします。お知らせの時期は8月上旬以降を予定しています。

3. 分科会 II

複数の参加者に、実際に課題解決・改善等に向けて取り組んだ事例報告をしていただきます。発表とその後の質疑応答を通じて、国立大学職員としての可能性や課題解決に向けたアプローチやヒントを学び、発見する機会とします。また、全国の仲間の具体的な活動事例を知ることによって参加者が自ら動き出す“きっかけ”を得ることが期待されます。

○2 日目

4. 分科会 III

1日目の知見や気づきを踏まえてディスカッションを行い、グループ内で「大学職員募集要項」を作成するというワークを行います。その後、作成した「募集要項」の発表会を行うことで、他のグループから新たな発見を得るとともにグループ内におけるまとめを確かなものとしていきます。

そして最後には、個人で今までの学びや気づきを振り返りながら、国立大学が抱える課題に対し、自分自身がどのように関わっていくのか、より具体性を持った行動目標を確立していきます。

5. 全体会

2日間の議論を振り返り、数名の参加者から行動目標を発表していただきます。自らの目標を意識し、主体的に取り組んでいくことを通じて、自身の業務で大学を変えていく、「やりがいと誇り」を持った国立大学職員となる未来への第一歩を踏み出します。

6. 参加申込

国立大学一般職員会議ホームページ (<http://kokudaipan.info/>) の「APPLY」のページに掲載されている「参加申込用紙」に必要事項を記入し、実行委員会メールアドレス (info@kokudaipan.info) までお送りください。

申込用紙の受付期間は、平成27年7月9日(木)～7月28日(火) 18:00です。

7. 参加費（事前振込）

〔会議費〕 1,500円（1日目のみ参加の方に限り、1,000円）

〔懇親会費〕 3,000円（参加希望者のみ）

※ 会議費は、資料の印刷費、グッズの作成費等、運営のための必要経費です。

※ 会議費には、2日目の昼食代 500円を含んでいます。

8. 参加費の納入期間及び方法

〔納入期間〕 平成27年7月9日(木)～8月4日(火)

〔納入方法〕 下記の手順で納入してください。

1. 上記6. 参加申込に従い、「参加申込用紙」に必要事項記入のうえ送信する。
2. コクダイパン会議実行委員会からIDが記載された申込受理メールを確認する。
3. 申込受理メールから1週間以内に下記の振替口座に参加費を振り込む。
 - ※ 振込の際は、通信欄にIDを記載し、お名前と併せて所属機関名をご記入下さい（通信欄がない場合は、お名前及び所属機関と併せてIDを記入してください）。
 - ※ 振込後に受領した「振替払込請求書兼受領書」または「ご利用明細票（振替受付票）」などは念のため保管しておくようお願いします。

＝注意事項＝

- ・ 参加費納入にかかる手数料については、参加者負担でお願いします。
- ・ 参加申込を受理した場合であっても、参加費の振り込みがない、または、振り込まれた参加費が不足していた場合、参加申込を取り消させていただく場合があります。
- ・ 振り込まれた参加費については、実行委員会の責めによる事由がなければ返付いたしませんので、ご了承ください。

- ・ 会議費・懇親会費ともに事前振り込みをお願いします。
- ・ 振り込み完了後のキャンセル及び当日の会議欠席の場合、会議終了後1週間以内に実行委員会 (info@kokudaipan.info) に連絡をいただければ、「着払い」にて当日配布した資料及びグッズを送付します。

＝参加費払込口座＝

●ゆうちょ銀行（窓口・ATM）から振り込みの場合

口座記号・口座番号	02200 - 8 - 137671
加入者名	国立大学一般職員会議実行委員会

●ゆうちょ銀行以外からの振り込みの場合

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	229
預金種目	当座
店名	二二九（ニニキユウ）店
口座番号	0137671
口座名称	国立大学一般職員会議実行委員会 コクリツダクイガクイッパシヨクインカイギジツコウインカイ

9. 今後のお知らせ

＝重要＝

本会議に関する連絡はすべてメールにより行い、「参加申込用紙」に記入頂いたメールアドレス宛てに送信します。また、資料等の事前送付のため、メールにデータファイル（圧縮されたファイルを含む）を添付することがあります。

そのため、「参加申込用紙」には、確実に受信できるアドレスを記入していただくとともに、可能な限り添付ファイルのあるメールであっても受信できるアドレスとしてくださるよう、ご協力をお願いします。

また、国立大学一般職員会議ホームページ及び実行委員によるスタッフブログなどを開設しています。今回の会議に関する情報のほか、過去の会議に関する情報も掲載されていますので、是非ご覧ください。

H P : <http://kokudaipan.info/>

B L O G : <http://blog.kokudaipan.info/>

T w i t t e r : <http://twitter.com/kokudaipan>

F a c e b o o k : <http://www.facebook.com/kokudaipan>

10. 実行委員会の連絡先

[メールアドレス] info@kokudaipan.info

※ 国立大学一般職員会議に関するご意見、ご質問など、お気軽にお寄せください。

※ 電話や FAX 等によるお問い合わせには対応できませんので、ご了承ください。

第9回 国立大学一般職員会議 日程表 (予定)

【1日目】

時刻	進 行	内 容	会 場
13:20	開場・受付		別館インテリジェントホール
13:50 14:20	全体会	オープニング 会議全体の趣旨説明 1日目の趣旨説明	別館インテリジェントホール
14:20 14:50	アイスブレイク (30分)	アイスブレイク	別館インテリジェントホール
15:00 17:00	分科会 I (120分)	グループディスカッション	第1講義棟及び 第2講義棟
17:10 18:25	分科会 II (75分)	参加者による事例報告	第1講義棟及び 第2講義棟
18:35 18:50	全体会	1日目の総括 2日目に向けて	別館インテリジェントホール
19:10 21:00	懇親会		東プラザ

【2日目】

時刻	進 行	内 容	会 場
8:30	開場・受付		別館インテリジェントホール
8:50 9:10	全体会	2日目のスケジュール確認 2日目の趣旨説明	別館インテリジェントホール
9:20 13:50	分科会 III・昼食 (270分)	グループワークによる 成果物作成・発表 及び 個人アクションを考える (ターム制の予定)	第1講義棟及び 第2講義棟
13:50 14:10	全体会	2日間の総括	別館インテリジェントホール
14:15 14:30	解散・写真撮影		別館インテリジェントホール

- ★ 参加申込方法：「info@kokudaipan.info」までメールでご送付ください。《平成27年7月28日(火)18時締切》
- ★ メールの子名及び参加申込用紙のファイル名は、「第9回国立大学一般職員会議申込用紙：大学名・氏名」としてください。
- ★ 黄色セルの項目は必ず入力・選択してください。未記入の場合は、申込を受理できない場合があります。

※今回のコクダイパン会議では、分科会Ⅱにおいて参加者の方からの事例報告を予定しています（事例報告者については、後日、実行委員会から依頼させていただきます）。事例報告は他の参加者への情報提供という点以外に、報告者自身にとっても、「自身の取り組みの振り返り」「取り組みに対して意見等がもらえ、新たなアイデアが生まれる可能性がある」「発表をしてみる機会」「人脈作り」といった点でメリットがあり、新たな“気づき”を得る機会になると考えております。依頼があった場合は、ぜひ前向きにご検討ください！

第9回国立大学一般職員（コクダイパン）会議【参加申込用紙】

ID ※実行委員会使用欄			
プロフィール	氏名（漢字）		
	氏名（かな）		
	所属機関		
	所属部署		
	職名		
	地域		
	職種		
	大学職員としての勤務年数（〇〇年目、平成27年10月10日現在） （※数字のみ記入して下さい）		
	年齢層（平成27年10月10日現在）		
	性別		
	メールアドレス		
	過去のコクダイパン会議への参加状況		
	業務の中で関心がある話題、今後学びたいことをご記入ください。		
自己紹介など、一般職員（パン）仲間へのメッセージをお願いします。 [100字以内]			
参加日程	参加日程		
	懇親会（1日目）参加の有無		
事例報告について	<p>小さなことでも良いので、あなた（※）が大学職員として取り組み実行した事例を、具体的に教えてください。</p> <p>※「係」や「チーム」、「WG」の一員として何か取り組んだ事例も含む。</p> <p>事例の発生した状況→事例を実行するまでの過程→事例を実行するために行った個人的な取組・工夫→最終的な結果のプロセスが具体的にわかるよう、ご記入下さい。</p>	事例（タイトル）	
		実行内容（何をしたのか）	
		実行前の状況、取り組みもうと思った理由	
		実行計画、事前の準備（根回しや準備したことなど）	
		実行した結果についての自己評価	
		成功の秘訣or失敗の原因（実行するにあたって必要となった能力等を含む）	
		上記の取り組みに最も近いと思われる項目を区分欄で選択して下さい。適当な区分が無い場合、区分欄では「その他」を選択し、下欄に新しく区分をご記入下さい。	区分 その他
会議全般	あなたは第9回コクダイパン会議をどのような会議にしたいですか？ （会議への意気込みやご意見、ご要望等自由にご記入ください）		

ありがとうございました。当日お会いできることを実行委員一同楽しみにしています。

※参加申込用紙に記入された内容は、国立大学一般職員会議の企画及び運営以外の目的には使用いたしません。

<参加申込用紙は、平成27年7月28日（火）18時までに「info@kokudaipan.info」までメールでご送付ください。>

第9回コクダイパン会議

2015年10月10日(土) 13:50-18:50 (13:20-受付)

2015年10月11日(日) 8:50-14:30

Pan
can
do it !!

自分の仕事が
未来を変える



会場：一橋大学国立キャンパス



■参加申込

コクダイパン会議ウェブサイトから参加申込用紙をダウンロードし、必要事項を明記の上 info@kokudaipan.info までお送りください。

■募集期間

7月9日(木)から7月28日(火) 18:00
実施要項など、詳細はウェブサイトにてご確認ください。



コクダイパンウェブサイトは
こちら↑
<http://kokudaipan.info/>